

「地域幸福度（Well-being）指標を活用したまちづくりの政策デザイン」

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）では、7月24日に開催します特別フォーラムのサイドイベントとして、自治体職員限定のワークショップ「地域幸福度（Well-being）指標を活用したまちづくりの政策デザイン」を開催いたします。

当日は、デジタル庁村上市統括官にご講演いただいたあと、地域幸福度（Well-Being）指標を活用した政策デザインのワークショップを皆さまに体験していただきます。

ウェルビーイングに基づく政策デザインにすでに取り組んでいる、もしくは、興味・関心がある自治体職員の皆さまは、是非、お気軽にご参加ください！

イベント名	地域幸福度（Well-being）指標を活用したまちづくりの政策デザイン
開催日時	2024年7月24日（水）14:30～16:30（開場14:10）
開催場所 （リアル開催）	日経カンファレンスルーム（日経ビル6F） ※オンライン配信はありません 東京都千代田区大手町1-3-7 https://www.nikkei-hall.com/access/
プログラム （登壇者）	●講演 デジタル庁統括官 国民向けサービスグループ長 村上 敬亮氏 ●地域幸福度（Well-Being）指標を活用した体験ワークショップ ファシリテーター：SCI-Japan専務理事 南雲 岳彦
対象者	自治体職員限定 ※1自治体から複数名で参加することも可能です
参加費	無料
申込方法	申込フォーム よりお申込みください ※複数名でご参加の場合、1名ずつお申込みください
定員	50名（先着順受付）
備考	当日は、各自PCもしくはタブレットをご持参ください。 なお、本ワークショップ参加者は、日経ホール（日経ビル3F）にて同時開催しますSCI-Japan特別フォーラム（10:00～18:00）・懇親会（18:00～）にも無料でご招待いたします。是非、特別フォーラムにもご参加ください。



申込フォーム

ウェルビーイングに基づく政策デザイン（WBPD）とは、「実践の手法」である。主観・客観の両データの有効性と限界を理解の上、価値観や倫理観、目的と文脈といった定性的な情報を加味し、市民の幸福感や暮らしやすさの実感を向上させることを目指す政策立案手法である。

【WBPD実践の5つのプロセス】

- O** Overview = 大きく目を開いて地域社会を俯瞰する
- A** Analyze = データを分析してフォーカスを見つけ出す
- S** Solve = ウェルビーイングを高める政策をデザインする
- I** Impact = 工夫を重ねてソーシャルインパクトを導き出す
- S** Share = 良い結果も悪い結果も広く社会に共有する

講義

グループワーク

発表

